平成 29 年 10 月6日発行 $N_0.313$



発行元: 社会福祉法人 拓く

TEL 0942-27-2039 FAX 0942-27-2086 http://h-polepole.com

旅行に行ってきました!!

ゆめこうぼう りょうしゃ めい すたっふ めい ながさき い 9月21日~22日に、夢工房の利用者さん15名、スタッフ8名で長崎へ行ってきました!!貸切バス

み やげ か はうすてんぼす なに での移動だったので『お土産、なに買おう』『ハウステンボスでは何をみよう』と

わくわくどきどき☆ はうすてんぼす はろうぃん じき ハウステンボスはハロウィンの時期ということで綺麗に飾りつけられており、その ふん い き なか しょうだんたい ペーす す 雰囲気の中、 小 団体にわかれてそれぞれのペースで過ごしました。2日目の遊覧 ゆめこうぼう かしきり せん ほか じょうせん ひと け しき たんのう 船は他に 乗 船する人がいなかったので夢工房の貸切でたっぷりと景色を堪能す

まぢか いるか しょー おおよろこ かえ ることができ、うみきららでは間近でイルカのショーをみてみんな大 喜 びでした。 帰りのバスの中でも、 『イルカが はなし つ ようす

すごかった』『ごはんおいしかった』と 話 が尽きない様子でした。

ぼらんてぃあ さんか いただ かた なんかい はうすてんぼす い ぜっぴんごく り ようしゃ ボランティアで参加して 頂 いた方からは『絶品極うま旅行』と 称 していただき、利用者さんからは『何回もハウステンボスに行ったけ であかい いちばんたの い いただ まいにちかお あ なかま い じょう しょうじょう ど今回が一番楽しかった』と言って 頂 きました。毎日顔を合わせている仲間たちですが、いつも以 上 にきらきらとした 表 情 でそれぞ しごと ば ようす ちが れ楽しまれていました。やはり仕事の場での様子とは違って、みなさんの「素」にちょっとでも触れることができたかなと思います。

ゆめこうぼうたんとう なかむら ゆか (夢工房担当 中村 友香)

F N F N お む つ けんしゅうかい かいさい ポレポレにて「オムツ研修



にち おむつ べんきょうかい ぽれぽれ おこな 9月27日、オムツの勉強会をポレポレで行いました。講師は、オムツフィッ たー しかく も さいとうさ やさま かわむらぎ しかぶしきがいしゃえ い と せ ん たーふくおか こんかい ターの資格を持つ齋藤小弥様(川村義肢株式会社エイドセンター福岡)。今回、 おむつ ただ あかた おむつ ぱっと しゅるい さいず まな オムツの正しい当て方とオムツ・パッドの種類とサイズを学びました。まず、二人一まなっこうかん こまなっ しゅるい めーかーごと つよ おし いただ 組となりオムツ交換をし、その後、オムツの種類やメーカー毎の強みを教えて 頂 き うご おお かた つ かた し ました。参加した方からは、「動きの多い方の付け方が知りたい」「実際に利用者

はいせつ ぷらいベーと ぶぶん おお ひとくち おむつこうかん とう こえ いただ しょうがいとくせい かどういき ひふしっ さんを見てほしい」等の声を頂きました。排泄はプライベートな部分が多く、一口にオムツ交換といっても障害特性や可動域、皮膚疾 かんとう まむっ さい はいりょ てん さまざま こうし かた こんご でき かぎ あとばいす い いただ こんかい 患等、オムツをする際に配慮すべき点は様々です。講師の方から今後も、出来る限りのアドバイスはしたいと言って頂いています。今回 けんしゅうたんとう しらす なおき 参加できなかった方にも、伝えていきたいと思います。 (研修担当 白數 直基)

基幹センター ほう こく

くるめしきかんそうだん

2留米市基幹相談支援センターは2年目へ

くるめしきかんそうだんしえんせんたー かいせつ ねんめ おも こべつ 久留米市基幹相談支援センターは開設2年目となり、主に個別での相談と地域づくりを行っています。この地域づくり かた じょうほう あつ だれ き かんそうだん し えん せ ん た ー い っしょ つく ぶん か かい ぶん か かい として、市役所と基幹相談支援センターが一緒に作った分科会というものがあります。分科会は、いろんな方から情報を集めて誰もが まくてき ぶんかがい な わたし とうじしゃぶんかかい つうしょう ばりあふり - かふ 住みやすいまちづくりをしましょうという目的で5つの分科会から成り、私はそのひとつである当事者分科会(通称:バリアフリーカフ がいしゅつ かぞく じ むきょく たんとう か げつ 1 かいあつ エ)の事務局を担当しています。この当事者分科会は、久留米市内の障害当事者に呼びかけて2か月に1回集まり、「外出」「家族」
しえんしゃ てっま き はなし しょうがいしゃ りかい しせつ ぱっせんと てきび はなし 「支援者」などテーマを決めていろんな 話 をされています。「 障 害者を理解してくれている施設は 1パーセントもない」などの手厳しい 話 こ - ひ - この じぶん ぽぇむ か たの はなし さんかしゃ みな じょうほう はっしん もあったり、「コーヒーの好みはこれ」「自分はポエムを書いている」などの楽しい話があったり、参加者の皆さんが情報を発信したり、 きょうゆう あら こと し きかい おも おも ぶんかかい はじ はじ から から かたし とう じしゃぶんか 共 有したりして、新たな事を知る機会になっていると思います。分科会はまだ始まったばかりではありますが、これから 私 も当事者分科 きょうゆう く る め しせい ぶしょうがいしゃ きかんそうだん しえん せ ん た ー かい とも だれ ば ば たかすけ じんりょく おも 会と共に、誰もが住みやすいまちづくりに尽力できればと思います。(久留米市西部障害者基幹相談支援センター 馬場・宇理)